

「第5回日経統合報告書アワード」優秀賞の受賞について

2026年3月19日

株式会社 十六フィナンシャルグループ

株式会社十六フィナンシャルグループ（代表取締役社長 池田 直樹、以下「当社」といいます。）は、日本経済新聞社が主催する「第5回日経統合報告書アワード」において、「優秀賞」を受賞いたしましたので、お知らせします。当社における本アワードの受賞は初めてとなります。

日経統合報告書アワードは、ESG（環境・社会・企業統治）情報など投資家が注目する企業価値情報の開示に積極的な企業を評価・表彰することを目的として、日本経済新聞社が主催する表彰制度です。

今回で第5回目となる本アワードには、統合報告書を発行する504社・団体が参加し、ファンドマネージャー、アナリストや学識経験者などが審査を行いました。



◆ 今回の受賞では、以下の点などが評価されました。

- ・ トップメッセージは、持株会社化後の変革期としての決意が明確に語られている。地域の衰退への危機感を背景に、銀行の枠を超えた総合金融グループへの転換を、自らの言葉で論理的に説明しており、変革への熱意と責任感が十分に伝わる内容である。
- ・ 持株会社体制への移行を経て、従来の「銀行」から「総合金融グループ」へと進化を遂げる十六フィナンシャルグループのダイナミズムが反映された内容。ミッションを起点にマテリアリティ、経営戦略、そして人的資本を中心とした経営資源の活用が、価値創造ストーリーとして一貫性を持って記述されている。
- ・ パーパス・ビジョンに始まり、マテリアリティの設定、具体的な事業計画に落とし込むところまで、非常に解り易く説明されており、地域社会にとっても良い総合金融グループなのだろうということが伝わってくる。特に人材活躍推進のための制度が手厚く、従業員から見ると働きたい総合金融グループになっていることもうかがい知ることができる。
- ・ TCFDおよびTNFD提言に基づく詳細な開示が見られた。Scope 3カテゴリ15についてもPCAF基準で算定し、2050年ネットゼロ目標を掲げている点は他の企業ではなかなか見られず、先進的だと感じた。

（「第5回日経統合報告書アワード」一次審査結果レポートより抜粋加工）

当社グループは、2027年度に創立150周年の節目を迎えます。2025年度からの3年間で「ホップ・ステップ・ジャンプ!」の成長期間と位置付け、2025年度は力強い第一歩「ホップ」を踏み出しました。2026年度は、その勢いに弾みをつける第二歩「ステップ」を刻み、大きな飛躍につなげてまいります。

今後も、統合報告書を通じてすべてのステークホルダーのみなさまに当社グループの取組みへの理解を深めていただくとともに、開示情報の充実を図り、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

- ご参考：当社「統合報告書 2025」は[こちら](#)
- ご参考：日経統合報告書アワードならびに、第5回受賞企業については[こちら](#)

以 上

【ご照会先：十六フィナンシャルグループ（広報） TEL 058-266-2511】